

幼保連携型認定こども園 **松陽こども園**

R6年度 こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			(2)教育・保育方針の3つのゼンの「積善」を意識した教育・保育はどのような保育なのか？との保護者の声があった。心の育ちを支える活動において1場面をドキュメンテーションで保護者にわかりやすく伝えていくようにする。また、保育者は子どもの「心」の部分から「積善」の意味を深く探していきたい。 (4)人格を尊重した教育保育として、子どもの名前を呼び捨てにしない、強い口調での注意や言葉使い、無理強い、強要した保育は行わない等、子どもの自主性や個性を尊重した保育に努める。保育者間の対話を通して子どもの関わりやのよし悪しを振り返り保育の確認を行う。様々な職種職員も皆、不適切保育についての研修を受講し園全体で積極的に学びの時間を確保する。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4)一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			(2)指導計画「月案」の話し合いが保育者間でしっかりと行えていない。ICT化によりデータでの管理となっている保育計画は保育日誌を含め、紙ベースでしっかりと共有、振り返りをしていくことが大切である。 15分ダイアログで対話を重ね、保育の協働を目指したい。 (3)新型コロナウイルス感染症終息の兆しと共に、行事の精選を行った。家族で参加できる行事が増えたことや「行事」を通して子どもの成長が見られたこと等保護者の反応は大きく行事への期待と喜びの声が多く聞かれた。また、保護者は行事当日の子どもの姿に特化せず、行事に向かうまでの日々の過程を大切に当園の保育への理解も深まっている。アンケートに「主体性を育む保育」「サークルタイム」の文言が記述されていたことから現在実践している「つなげる・つながる保育」「プロジェクトアローチ」への理解にも繋がっているように感じる。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				(3)(4) 離乳食から完了食への移行時での補食のあり方、長時間保育のおやつ提供、子どもの年齢に見合った規定量、誤飲、窒息につながる食材の大きさ、形状、性質等様々な問題点を職員間で共有し「食べる」ときにひそみリスクを日々確認する。重大な事故を防ぐため安全な食生活の徹底に努める。食育計画に基づいた食事のマナーを再確認し、保育者は園全体共通の対応を心がける。給食職員と保育者の共有と連携を密にする。また食事環境の現状を把握する機会を設けるため次年度は栄養士が保育室に入り子どもと一緒に給食を食べる取り組みを実施したい。 (5)子どもの年齢の発達や成長に合わせた環境構成(遊具や玩具)が不十分である。発達の特性を踏まえた環境づくりを次年度の目標に掲げ魅力ある遊びの環境づくりを目指す。 (6)(7)(8)(9) 保護者アンケートより「園で楽しく心地よく過ごしているか?」「あてはまる」が90%以上あり「園の様子を楽しそうに話す」という回答が多くあった。子どもが安心して過ごしていることがわかる。安心安全な園生活の中で発達に必要な様々な体験を積み重ねていけるよう次年度は「目指したい子ども像」掲げ、さらに保育の探究に努めたい。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか	○				
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育んでいけるよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			